

2012年10月30日

市町村アカデミー

「図解表現の技術」

図解はやってみると面白い。はまりそうです。事務処理ミス防止にも活用できるのではないかと考えました。目からウロコが落ちる発想でした。

若手職員用の研修資料を作成する計画がありますので、帰庁後、提案したいと思います。

とても有意義な講義でした。ぜひ本市においていただき、全職員に講演いただきたいと思いました。

見やすく丁寧な資料作りを意識していきます。

先生のとときき言うアドバイスも役立ちそう。

構造化が必要であると改めて認識した。

図解を使えると、分かりやすく大きな武器になると思います。

“図解思考は脳が考える”納得しました。

慣れると項目の大小なり、つながりになり、後々まで頭に残るような気がする。

プレゼン等の相手を説得する際において、とても効率的な手法だと感じた。またターゲットを絞った議論に活用でき、実務においても活用したい。

特に図の強弱のメリハリには注意したい。反省すべき点を多く感じた。

私の仕事を図解して、曖昧になっている事に気づかされた。グループ討議で活性化した。

新しい発見があり整理できた。図解ができる人は、仕事ができる人というのは納得です。図解すると、仕事を鳥瞰的に見えていると思う。

論理的なことは図解にできるという言葉が印象に残った。仕事の図解がきちんと書けることは業務の目的、市民へのサービス内容が明確になっている。

すぐに図案の構成がまとまらなかった。やっぱりトレーニングが必要ですね。

人間(人脈)関係についても意識できた。先生のHPを見て図を習得したい。

話の内容など、大変楽しい講義でした。

企業の方から、先日久恒先生の本をすすめられました。図解の技術を身につけたいと思います。

狭い視野から脱却する一助となるように思われる。スキルを高めることができれば一生の財産になるのではないかと感じた。

見る側の立場を考えた資料作りを意識するようになった。重要性や相関性を表現することに困難であったが、この講義で学んだ技法を用いて、今後の業務に活かしていきたい。

私の頭の悪さを痛感できました。分かりにくいと言われる固定資産税を図で説明できるように意識して取り組みたいです。

“文章は担当がかわれば変わるが、図解は変わらない”という言葉は、全くその通りです。

分かりやすい資料作成のヒントがつかめたような気がします。また、先生の著書も改めて読ませていただきたいと思います。

講義を楽しみにしていました。自分の頭を整理するいい機会でした。

最も楽しみにしていた講義です。勉強になった。今後とも著書を拝読して図解表現のスキルを高めます。

今後活用したい。合意形成において、全体像を把握することにより、連携がないもの、既に合意がなされているものを把握可能であることが分かった。

全体のどの場所に位置しているか確認できた。図解は大変。でもすごく分かりやすいと思う。

ワークショップ形式で人の作品を見れて、良かった。基本的な技術を教えてほしかった。トレーニング本買います。企画部門だけでなく、すべての部署で役立つと思う。

統合計画、基本構想など概念を論じる際、図解することで新たなアイデアが生み出されると思う。

説得型をやめて納得型行政にしようと思います。図解が他人の成果を見たときに全く違うのに驚いた。

当たり前になっていることによる弊害である。ということが、ハッキリ認識できてよかった。

あらゆる物事の整理に応用できる方法であると確信した。

今まで自己満足で終わることが多かった資料作りですが、図解表現を楽しく学べました。